

## ■令和6年7月29日 臨時記者会見内容

- 1 日 時 令和6年7月29日（月）11:00～11:30
- 2 場 所 市役所本庁舎7階 703会議室
- 3 出席者 ○市長、総務部長、地域創生部長、市民部長、健康福祉部長、建設部長、  
農林水産部長、危機管理監、危機管理課長、市長公室長  
○酒田記者クラブ／各社  
幹事社／山形新聞社・Y T S

## ■市長発表事項

### 1 7月25日からの大雨による災害について

市長／7月25日からの大雨により被災されました皆様に、まず心からお見舞いを申し上げます。

報道機関の皆様には、日々市民、国民の皆さんに、本市の被害情報広く届けていただきまして、心から感謝を申し上げます。

本市では、7月25日の大雨により、大雨特別警報が2回発令され、63か所の避難所に最大で1,752人が避難をされました。本日7月29日午前5時現在でも109の方が避難をされております。そのような中で、八幡地域大沢地区の北青沢にお住まいの86歳の女性が、行方不明ということで、自衛隊、警察、消防、消防団で捜索活動を進めていただいております。一刻も早く発見をされるように強く願っているところであります。

荒瀬川、日向川、袖浦川などの河川の氾濫で、市内の広い範囲で家屋への浸水・道路や法面等の崩落、農作物への損害など、甚大な被害が各地で発生しており、いまだ被害の全容が把握できていない状況です。

確認できているものでは、少なくとも298棟あまりの床上・床下浸水の被害が出ております。

八幡地域の大沢地区、それから松山地域、西荒瀬地区など、特に被害の大きい地区に関しては、いまだに被害の全容が把握できておりません。

ライフラインも大きな打撃を受けました。25日発災当日には、市内の広範囲で停電が発生し、いまだ八幡地域の一部で約500戸が停電しております。それから八幡地域の大沢地区、そして平田地域の中野俣地区では断水も続いておりまして、復旧の見通しは立っておりません。

そのような中で、発災当日25日の夕方には、自衛隊の方々が本市に駆けつけてくださいました。そして、大沢地区で救助活動などを展開していただいたことは、大変心強いものであります。

この大沢地区でございますけれども、日向地区から交互通行、すれ違いができないような細かい林道を通して、大きく迂回して入るといふ道しか今ございません。関係者以外の方はなかなか入りにくい、入るのをご遠慮いただきたいような、そういう状況にもありまして、大沢地区の皆さんは大変心細く思っていると、他の地域に比べて人の出入りが大変少

ない、外からの人の出入りが少ないということで大変心細く思っているという声は、私のところにも届いております。

しかし、当日自衛隊の方々と一緒に、危機管理監も入っておりますし、土曜日には副市長、それから建設部長はじめ、建設関係、それから当然インフラ関係、民間企業インフラ関係の方も入っております、今必死に支援を続けております、大沢地区の皆さん、地域の皆さんが力を合わせて、今何とか頑張っているという声が届いております。

しっかり知っておりますので、関係者一同協力して、これからも支援して参りたいというふうに思っております。

それから多くの自治体や企業団体から支援の申し出もいただいております、大変ありがたく思っております。特に、食事の提供ですとか、廃棄物の運搬などすでに事業者さん自らの判断でご提供・活動いただいている方も把握しております。こうしたご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。

27 日土曜日には酒田社会福祉協議会が酒田市災害ボランティアセンターを設置しております。そしてボランティアの受け付けも開始しております。実際のボランティア活動につきましては、7月30日、明日の火曜日以降を予定しております。ぜひ多くの方々のお力をお借りしながら、復興に向けて取り組んでいきたいと思っております。

山形地方气象台によりますと、30日火曜日ごろにかけて大雨洪水警報が発表される可能性が高いということでございます。これまでの大雨で地盤の緩んでいるところや、増水している河川がありますので、引き続き河川の増水や氾濫、土砂災害、低い土地への浸水に対して厳重な警戒をお願いしたいと思います。二次被害が出ないようにしっかり注意して、一緒に対応に当たっていききたいというふうに思います。

避難所に避難されている皆様には大変ご不自由をお掛けいたしますが、何か困ったことがございましたら遠慮せずに、避難所の職員にお声がけをいただきたいというふうに思います。避難所生活が長くなりますと、避難者の皆様にとって、健康状態も大変心配になってくると思われまますので、保健師等を派遣して、心身の健康のケアに努めているところであります。

また、避難所から早期に市営住宅等の仮の住宅に移れますよう、現在、点検準備を進めておりますので、今しばらくお待ちいただければと思います。

決して災害関連死という方が出ませんように、こちらも注意して進めていきたいと思っております。

本市では、引き続き被災された皆様が1日も早く、普段の暮らしに戻れますよう、土砂の撤去や通行止めの早期解除、災害ごみの受け入れなど、全力を挙げ、取り組んで参りますので、市民の皆様には引き続きご理解とご協力いただけますように、よろしく願い申し上げます。

引き続き、危機管理課からお配りの資料に基づき、補足説明をさせていただきます。

**危機管理監**／時系列を含めて申し上げます。

まず先ほど市長からあった通りですね、25日の大雨に伴いまして、午前8時29分、酒

田市の旧 3 町地区に対して避難指示を発令しました。その後、酒田地域で浸水被害の危険が高まったため、酒田市全域に午前 11 時 12 分、避難指示を発令いたしました。

その後荒瀬川の越水の情報があったため、午後 2 時 5 分に八幡地域に警戒レベル 5 の緊急安全確保を発令しました。

そこから自衛隊派遣を要請するかどうかというような判断になってきましたが、実際のところ八幡地域に緊急安全確保を発令した時点で、消防、警察等が地形を偵察したところ、八幡地域の常禅寺までは行けたと、そこで甚大な被害が発生しているといった情報がありました。その奥の大沢コミセン方面の情報は全くない、電話も通じないといった状況にありましたので、これは非常に大きな災害が起きているのではないかとというふうに危惧をいたしまして、県を通じて自衛隊に派遣要請をいたしました。それで派遣要請が受理されたのは午後 3 時 33 分です。

そこから陸上自衛隊部隊が展開して、その日の夜のうちに地形を偵察して日向川の方から青沢に至る経路、迂回路を確認しましたので、26 日午前 5 時以降、捜索開始をしたといたるところでございます。

7 月 26 日、午前 2 時 10 分ですね、最上川の水位が上がりまして、越水の危険があるといったところで市内各地に対して警戒レベル 5 を発令いたしました。対象は亀ヶ崎、港南、松原地区などでございます。

現在、最上川の方が一旦落ち着いたということで、災害対応のメインを大沢に戻しまして活動しているといったところが大きな概要でございます。以上です。

**危機管理課長**／引き続きまして、避難の状況等について、資料を基にお話させていただきます。昨日の夜の時点で 8 か所の避難所を開設しております。避難者数が 109 人になっております。最大時には 63 か所の避難所が開き、最大避難者数は 1,752 名となっております。

避難所の方には、7 月 28 日午後日本海総合病院の DMA T 災害派遣医療チームから入っていただくなど、地域の保健師も巡回して、避難者の方の健康状態を見ていただいております。

続きまして、資料 4 ページ、ライフラインというところをご覧くださいと思います。

八幡地域の断水につきましては、解消した地区と、仮復旧時期が未定の地区がございます。

大沢地区 252 軒につきましては、仮復旧時期も未定ということになっております。

また平田地域の方でも断水が一部残っております。中野俣地区 21 軒、こちらも仮復旧時期未定となっております。その他は復旧となっております。

ライフラインについてですけれども、電気が、酒田・松山地域の広範囲で一時停電いたしました。酒田・松山地域については復旧し、一部を除き復旧済みとなっておりますが、一部大沢地区を中心に約 500 戸の停電が続いております。

ライフラインで、今一番新しい情報なんですけれども、大沢コミセンでスマートフォンが使用できるようになったという連絡が入っております。スマートフォンは、KDDI さ

んが使用可能。ドコモさんが、本日、午後1時から使用可能になる。インターネットWi-Fiについてはキャリア関係なく、本日の午前10時から使用可能ということです。大沢コミセンで、スマートフォンの充電が一度に20台～30台可能となっております。こちらが新しい情報です。

次に支援情報ということで、まず災害ごみの仮置き場の設置についてです。

酒田地域につきましては、広栄町の資源ステーション、新林の旧工業高校跡地、八幡地域では、一條コミュニティセンターというところで、昨日から災害ごみの仮置き場を設置しております。本日午前11時から松山地域のニュートラック松山の駐車場が追加になります。

罹災証明書につきましては、本日午後1時から、酒田市役所、各総合支所の方で受け付けをするということになります。被害対象は住家を対象にしたもので、こちらの方は申請をいただいてから、そのあと認定の作業が入ることになります。住家以外の物置等に関しては、従来通りの罹災届出証明書になりますので、こちらも少し混同する場合もあるかもしれませんが、こちらはホームページ等で少し丁寧に説明をしておるところです。

防災ボランティアセンターの設置についてなんですけれども、こちら先ほどもお話ありましたように7月27日に設置し、ニーズ調査から開始しております。実際受け付けも開始しております、ボランティアの方から活動していただくのは30日を予定しております。

最後にお風呂の提供ということで、こちらの情報がございます。本日7月29日から当面の間、八森温泉ゆりんこ、アイアイひらたの入浴料を、被災された方々を対象に無料とする入浴支援を行います。時間の方ですが、ゆりんこが午前11時から午後8時、毎週火曜日と金曜日お休みということですが、明日30日は営業するという事です。アイアイひらたにつきましては、午前8時30分から午後8時30分まで、こちらの方は第1・第3木曜日がお休みとなっております。

フロントの方で必要書類を記載していただくと、無料をご利用いただけるようになっていきます。

## **2 7月25日の大雨に伴う「酒田の花火」の中止について**

**市長**／7月25日の大雨災害に伴う、酒田の花火の中止についてでございます。

市民の皆様も大変楽しみにされている、酒田の花火も、このたびの豪雨再災害によりまして、観覧及び打ち上げの会場となる最上川河川敷が、濁水で冠水する被害を受けました。

開催に向け、会場整備は相当程度進んでいる状態でありましたが、設置したパイプが崩されるなど、再度一からの作業が必要となっております。

加えて大量の漂着物や汚泥の不快なおいが残されておりまして、漂着ごみの撤去作業など、また新たな作業が必要となっております。

7月25日木曜日の豪雨の後も、断続的に雨模様の天候が続いておりまして、本日以降も明日にかけて大雨警報の予報もあるということで、会場整備は進められていない現状であ

ります。

そのような中で、酒田市としましてはこの未曾有の豪雨災害への対応に全力を尽くすべきというふうに判断をいたしました。

打上げ当日までに観覧者の皆様の安全を確保しつつ、会場を整備することが困難であるということから、苦渋の決断ではございますが、酒田の花火の中止を決定いたしました。

酒田の花火を楽しみにされていた皆様におかれましては、心よりお詫び申し上げたいと思います。本当に申し訳ありませんでした。

この度の豪雨で受けた甚大な被害の復旧にはまだ時間がかかると思いますが、市民の皆様と力を合わせて、再び笑顔溢れる地域を取り戻せるように努めていくとともに、来年度改めて盛大な花火大会を開催できるよう検討を進めて参ります。

私からは以上です。

## ■フリー質問

### 1 について

**記者**／ライフラインの確認なんですけれども、最新の断水、停電の軒数を確認させてください。

**市長**／断水ですけれども、八幡地区地域の大沢地区で 252 軒。それから、平田地域の中野俣地区円能寺で 11 軒。こちらがまだ続いているという状況です。仮復旧の時期が未定という地域でございます。

停電の方は酒田地域と松山地域は復旧。そして八幡地域は一部を除き復旧済みということで、現在の停電戸数は約 500 戸ということになっております。

停電の方は、7 月 28 日の午後 9 時 5 分時点の情報でございます。断水の方は、7 月 28 日午後 1 時時点の情報でございます。

**記者**／最初に今のライフライン関係についてですが、断水の方は大沢地区と中野俣地区の仮復旧時期は未定ということなんですけれども、長期化している理由と、ある程度目安みたいなものがわかるようでしたら教えてください。

**危機管理課長**／水道管の破損状況がかなりひどいということと、大沢地区の奥の方は、車両が入っていけるような状態にないということも相まって、見通しが立たないとの報告を受けております。

**記者**／停電の復旧の見通しについても何か情報が入ったら教えてください。

**市長**／こちらについては、東北電力の方にお問い合わせいただければ、正確なことがわかるかと思えます。よろしく願いいたします。

**記者**／それから先ほど市長が冒頭で借住まいのお話をされてらっしゃったと思いますが、現時点でどれぐらいの数を準備する予定でしょうか。

**市長**／まず、ニーズの把握を今日からしていきたいというふうに思います。現状避難をされている方は、昼間はご自宅に戻って、様々な作業をしている方が多いというふうに理解をしております。そうしますと、ご自宅から近いところの方がいいというようなこともあ

りますので、まずは避難されている方のニーズを把握してから、どのような住宅がいいのかということになると思います。

**記者**／自衛隊の派遣に関しまして、いつまでというような予定が分かれば教えてください。

**危機管理監**／時期的なところは明確に申し上げられません。しかしながら自衛隊の派遣の要件には緊急性・公共性・非代替性という3つの要件がございます。緊急性・公共性に関しては、これは災害ですのでクリアしているのですが、非代替性といったところですね、それが市で対応できるような状況になれば、派遣要請が解除できるかと思えます。逆に申しますと、自衛隊でなければできないような状況が排除されたというぐらいまで被害のレベルが下がれば、救助要請を解除するといったところでございます。以上です。

**記者**／まだ決まっていっていいのでしょうか。

**危機管理監**／解除の時期等については調整を進めていますが、ここで申し上げられる話でございません。

**記者**／災害ボランティアセンターに関してですが、設置は27日から始まっていて、活動が30日から開始予定ということですが、どれぐらい申し込みがあって、どういった地域から活動が始まる予定なのか、今の時点で決まっていれば教えてください。

**健康福祉部長**／現在募集をかけているところでございますけれども、現時点での詳しい数字まだ把握できておりませんが、十数件のボランティアの申し込みがあるということは聞いております。現在、引き続き申し込みをいただいているところですので、集約出来次第、公表したいというふうに思っております。活動につきましては、現在募集している数とそれから優先順位等を社会福祉協議会さんの事務局の方で調整中ですので、これから具体的には検討していきたいというふうに思っております。よろしく申し上げます。

**記者**／場所等決まりましたら教えていただけますでしょうか。

**健康福祉部長**／はい。特に公表は考えてはいないのですが、問い合わせがあれば対応したいというふうに思っております。

**記者**／はい、わかりました。ありがとうございます。

**記者**／断水の件で確認ですが、仮復旧というのは、どういう状態を指すのか教えてください。

**建設部長**／水道については、基本的には道路が完成したときに、本復旧の作業に入ります。仮復旧についてはおそらく仮設管を合わせていくということでございますけれども、大沢地区につきましては、升田の方から持ってきているという話ですので、そこはまだ道路の復旧のめどが立たないということでございます。

**記者**／ありがとうございます。もう1点建物の被害についてですが、第4報のから更新が止まっているようですが、その理由と調査をどのように進めていく予定かお伺いしたい。

**危機管理課長**／各課の方に被害報告ということで求めておりますけれども、把握できた段階でこちらの方に上がってくるということになってはいますが、報告がない場合はこちらの情報を更新していません。

**総務部長**／これから罹災証明を受け付けていくという段階になりますので、今現在、税務

課を中心に浸水したエリアを確認しているところでございます。

その後、正式に確認作業を進めていくということですので、かなりの数になっていると思いますが、詳細な調査はこれからということでございます。できる限り早い時期に、全容を掴んだ上で、調査をしたいというふうに考えてございます。

**記者**／この第4報からどれくらい上積みされているというような情報がありましたら、教えてください。

**総務部長**／今現在調査中ですので詳細はわからないという状態でございますけども、かなりの件数になるだろうということで、ここから大幅に増えるというふうに見込んでございます。

**記者**／今回かなりの甚大な被害ということですけども、こういう氾濫や大雨など、この規模の災害というのは過去にあったのか、あったのであればいつごろあったのか、或いは初めてなのか教えてください。

**危機管理監**／私が酒田に来てからもいろいろありましたが、このぐらいの規模のものは初めてだという声を多く聞きます。

**記者**／何年ぶりなのか。いつぐらいぶりなのか分かりますか。

**総務部長**／最上川が今現在の堤防の形になったのは昭和40年代でございます。

それ以前に、最上川が破堤したというのが、昭和19年、新堀地区で、そこはかなり浸水し3日から水が引かなかったという話は聞いてございます。ただ、八幡地域、西荒瀬など広域にわたってこれだけの被害になったことは無いというふうな感覚でとらえているところでございます。また災害としては酒田大火が大きな被害があったということはあるかもしれませんが、自然災害としてこれだけの大きな規模というのはなかったというふうなことで考えております。

## ■その他

- ・特になし